

施策名：世界に羽ばたく選手の育成

事業名	担当課・室名	ページ
チーム大分強化事業	体育保健課	1 / 1

# 事務事業評価調書

(事業実施年度：平成30年度)

別紙2-4

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	チーム大分強化事業 (おおいたシンボルスポーツ創出事業)		事業期間	平成21年度～平成30年度		政策区分	スポーツの振興
	総合評価	<b>A</b>		事業実施課(室)名	体育保健課	施策区分	世界に羽ばたく選手の育成
	<b>終了</b>				評価者	体育保健課長 加藤 寛章	

## [1. 現状・課題、目的]

現状・課題	大分国体での天皇杯獲得に貢献した指導者が世代交代の時期を迎え、次代を担う指導者による選手の育成・強化が求められている。2020東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップ2019等の各種国際大会において、本県出身選手の活躍に期待が高まる中、選抜チーム・選手の効果的かつ多様な育成・強化が課題となっている。	事業の目的	国体の総合順位の引き上げや各種全国大会で活躍できる選手の強化など、本県のスポーツ振興や競技力の向上を図るため、強化指定選手や団体の強化合宿・遠征等を支援する。
-------	--	-------	---

## [2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①国体に向けた大分県選抜選手の強化 強化合宿・遠征等の各競技団体の強化計画に対する指導・助言の実施及び強化費の補助 (41競技団体)	①	92,819	総コスト	169,596	178,860	
②シンボルスポーツの育成・強化 ターゲット競技(11競技)の強化、2019RWCに向けたラグビーフットボール競技の強化	②	13,563	事業費	109,596	118,860	
③ラグビーおおいたっ子の育成支援 世界のトップコーチ招聘によるラグビークリニックの開催、ラグビー選手の発掘活動、小学生ラグビー大会の開催、指導者の育成等	③	9,047	(うち一般財源)	58,327	70,897	
④ジュニアアスリートの発掘・育成 有望ジュニア選手(30人)の選出、育成プログラムの実施(対象6競技団体)	④	5,941	人件費	60,000	60,000	
	計	121,370	職員数(人)	6.00	6.00	

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	強化合宿・遠征回数(回)	目標値		500	500		500	76%	ラグビークリニック参加指導者数(人)	目標値		100		100	
実績値			448	510			実績値				94		94		
達成率			89.6%	102.0%			達成率				94.0%		94.0%		
アドバイザーコーチの招聘回数(回)		目標値		36	30		30	11%	ジュニアアスリート選手の選出(人)	目標値		30		30	5%
		実績値		31	11					実績値		30		29	
		達成率		86.1%	36.7%					達成率		100.0%		96.7%	

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

## [3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
	国民体育大会男女総合成績(位)	目標値		19	19		19	<b>a</b>
実績値			25	21		21		
達成率			78.6%	92.9%		92.9%		

## [4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度の国体に向け、活躍が期待できる競技(種別)の重点強化</li> <li>国体での入賞競技数の増、上位入賞数の増</li> </ul>	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 継続・見直し <input type="radio"/> 例外的に継続 <input type="radio"/> 廃止
		今後の事業方針	・国体において上位成績を獲得するため、競技団体や関係団体と連携して競技力向上対策に取り組む「新チーム大分強化事業」を令和元年度から実施